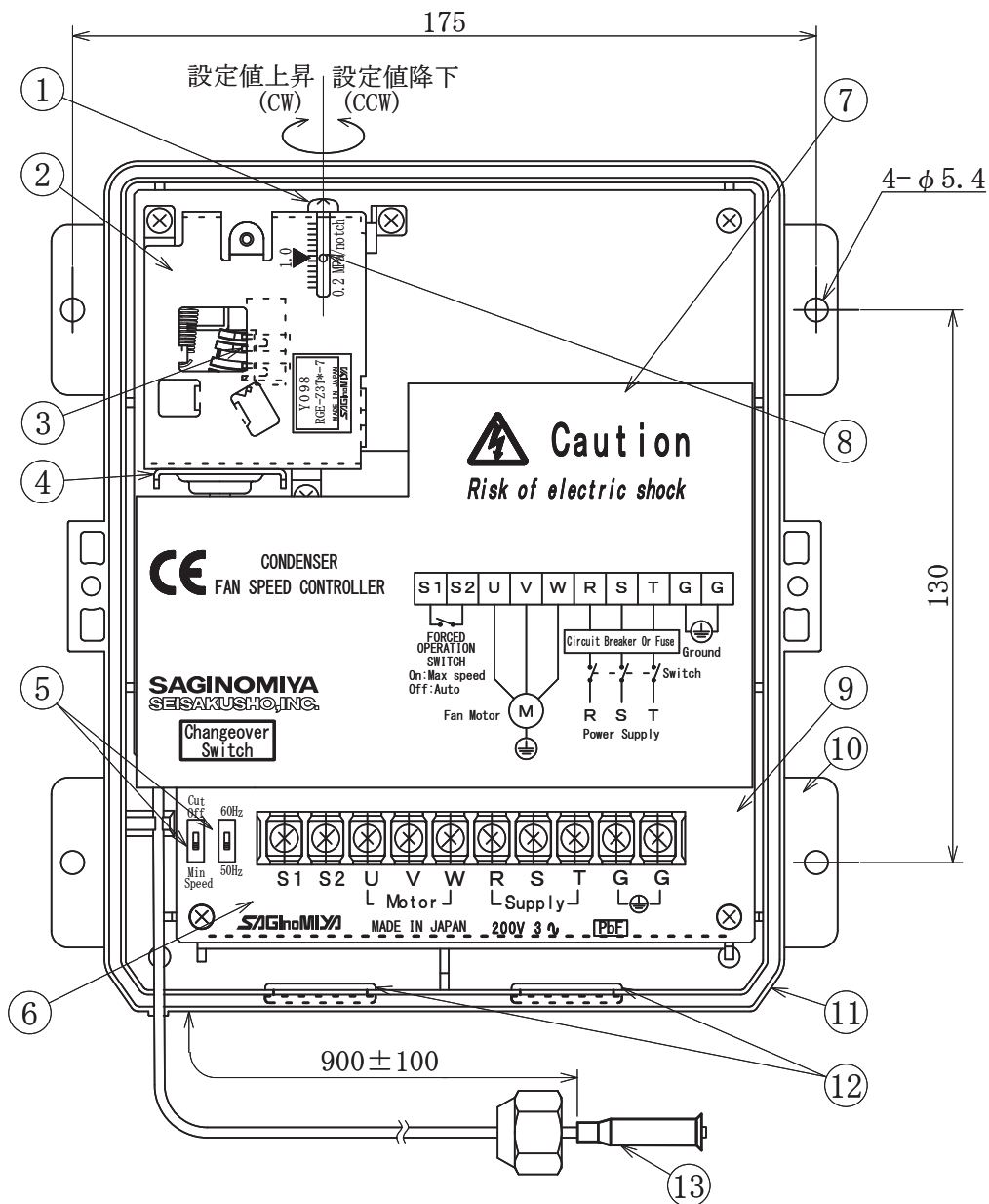


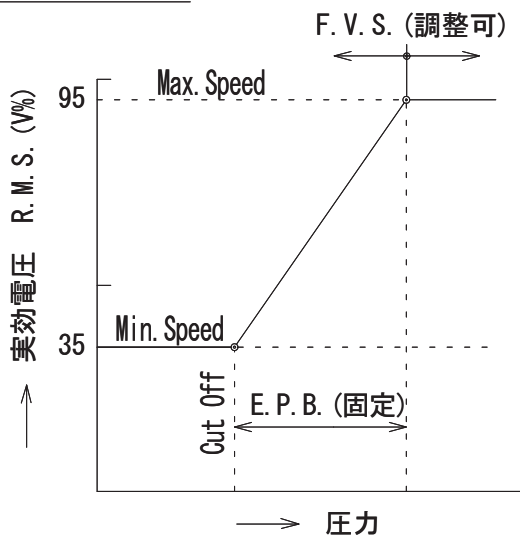
図1 構造図



部品表

13	シュレーダー付き 1/4フレア管
12	コード入ロゴム
11	ケース
10	ブラケット
9	端子盤
8	レンジ設定指針
7	保護カバー
6	プリント基板
5	切替スイッチ
4	ベローズキャップ
3	ワイパー
2	本体
1	レンジ調整ねじ
番号	部 品 名

図2 作動特性図



F.V.S. : FULL VOLTAGE SET POINT

実効電圧 (R. M. S. (V%)) の95%を出力する圧力。

E. P. B. : EFFECTIVE PROPORTIONAL BAND (有効比例帯)

実効電圧がMin. Speed又はCut Offするまでの圧力幅。

動作特性は使用される電圧、周波数及びファンモータの特性により変動します。

結線方法（図3、図4）

電線の接続は、端子盤⑨に端子ねじ(M4×0.7×8)が付いていますので、R、S、Tの端子に電源を、U、V、Wの端子にファンモータを接続してください。アース端子にはアース線を接続してください。

電気定格を越えないように負荷を接続してください。

⚠ 注意

- 供給電源周波数に切換スイッチの周波数を必ず合わせてください。
- 供給電源電圧はRGE使用電圧と一致しているか確認ください。
- 接続されるファンモータは、交流三相200V、過熱防止サーモスタット付の位相制御に適した三相誘導モータを使用してください。
- 接続されるファンモータに流れる電流値がRGE形の定格電流内である事を確認ください。一般に実効電圧が50～80%の時に負荷電流は最大になります。
- 電源に接続する際は、必ず7[A]以下のサーキットブレーカー又はヒューズを図4のように入れてください。
- 端子盤⑨への電源の接続は圧着端子を利用して確実に固定してください。M4ネジ固定の締付トルクは1.2Nmで行ってください。過大トルクで締め付けた場合、故障の原因となります。より線を利用される場合には他の端子にひげなどを接触させないでください。故障の原因となります。
- 本体を装置筐体外に取り付けるときは、電線を直接手で触ることができないように、図3のように電線管又は電線カバーを取り付けてください。
- アース線は必ず接地してください。
- S1, S2端子に接続するスイッチは、必ず無電圧接点信号のものをご使用ください。短絡すると強制全速運転となります。
- S1、S2端子には電圧、耐電圧試験電圧、絶縁試験電圧を加えないでください。
- ファンモータ以外の負荷を接続しないでください。

調整方法（図1、図2）

1) レンジ調整

レンジ調整ねじ①を時計方向(CW)に回すと設定値が高く、反時計方向(CCW)に回すと低くなります。

レンジ設定指針⑧の目盛りを目安に調整してください。

RGE-Z3T2-7	: 0.2MPa / 1目盛
RGE-Z3T4-7	: 0.2MPa / 1目盛
RGE-Z3T6-7	: 0.35MPa / 1目盛

2) 低速運転の切換

切換スイッチ⑤のつまみ位置により下記の運転を切り換えます。

- a) Cut Off : Min Speed になるまで圧力が低下するとファンモーターが停止します。
- b) Min. Speed : E. P. B. 以上に圧力幅が大きくなった場合Min Speedでファンモーターを運転し続けます。

⚠ 注意

- レンジ設定指針⑧の可動範囲内で調整してください。
- レンジ調整ねじ①、端子ねじ以外のねじは絶対に動かさないでください。

作動確認

本製品をご使用になるお客様（以下、「お客様」といいます。）は、ご使用の際、本製品を正しく取り付け後、必ず試運転を実施し全システムが完全に機能することを確認してください。本製品の不適切な取り付けにより、結果としてお客様の機械・装置において、人身事故、火災事故、多大な損害の発生などを生じさせないよう、フェールセーフ設計¹⁾、延焼対策設計による安全設計を行い必要な安全の作り込みを行っていただくと共に、フォールトトレランス²⁾などにより要求される信頼性にも必ず適合できる状態に正しくご調整くださいますようお願いいたします。

注¹⁾ フェールセーフ設計：機械が故障しても安全のように設計する。

注²⁾ フォールトトレランス：冗長性技術を利用する。

本製品の定期的な検査

最低 年1回は作動の確認を必ず実施し、その記録を残してください。お客様がこれらを怠ったことにより、お客様に損害が発生した場合、当社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものといたします。ただし、お客様に生じた損害が 本製品の製造過程における瑕疵による場合はこの限りではありません。

⚠ 注意

- アンモニア冷媒のシステムには使用できません。
- 本製品の最高使用圧力は3.3MPaです。それ以上の圧力の発生するシステムには使用できません。
最高使用圧力を超えて使用すると、特性の変化及び破損の原因となります。
- 本製品は常用1Gを超える振動環境下では使用できません。
- 本製品には100Gを超える衝撃を与えないでください。特性の変化及び破損の原因となります。
- 運転中は必ずカバーを取り付けてください。ワイパーに塵埃が付着すると動作が不安定になり制御できない場合があります。

図3 本体を装置筐体外に取付の場合

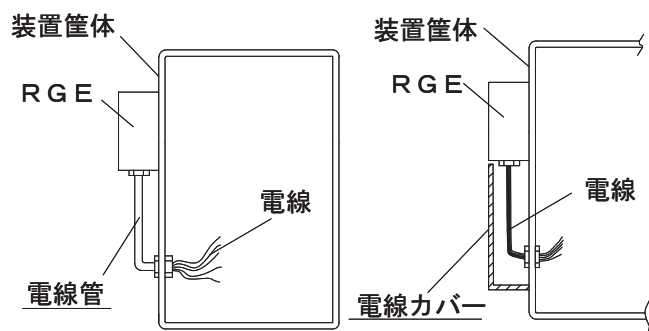
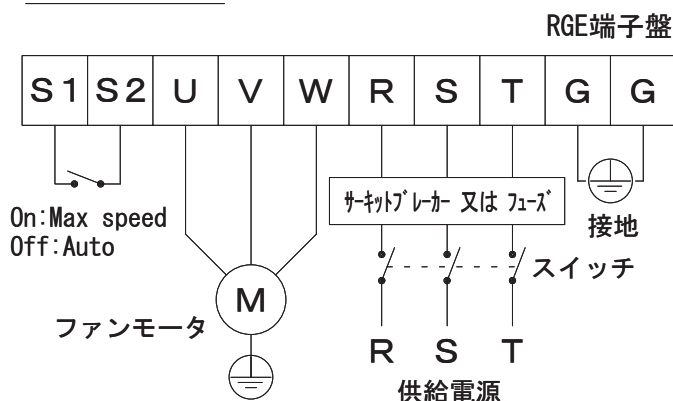


図4 結線図



使用上の制限

本製品は、生命にかかわるような状況下で使用される機器又はシステムに用いることを目的として設計・製造されたものではなく、冷暖房及び冷凍空調装置用又は各種産業装置用に用いることを目的(以下、「本目的」といいます。)として設計・製造されたものです。従いまして、下記1)～3)に関する分野における本製品の使用は一切予定しておりません。これらの分野について本製品を使用され、それにより損害が発生した場合でも、当社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものといたします。

- 1) 原子力・放射線関連
- 2) 宇宙・海底機器関連
- 3) 装置・機器の故障及び動作不良が、直接又は間接を問わず、生命、身体、財産などへ重大な損害を及ぼすことが通常予想されるような極めて高い信頼性を要求される機器

なお、上記1)、2)に関する分野であっても、本目的に沿う用途で使用される場合に限り、及び、下記4)～9)に関する分野に使用される場合は、当社営業担当窓口へ必ずご連絡のうえ書面による同意を得いただきますようお願いいたします。万が一、当社営業へのご連絡及び同意なくこれらの分野に本製品が使用され、それにより損害が発生した場合は、当社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものといたします。

- 4) 輸送機器(鉄道・航空・船舶・車両設備など)
- 5) 防災・防犯機器
- 6) 医療機器、燃焼機器、電熱機器、娯楽設備、課金に直接関わる設備/用途、可燃性流体を使用する機器
- 7) 電気、ガス、水道などの供給システム、大規模通信システム、交通・航空管制システムで高い信頼性が必要な設備
- 8) 官公庁 若しくは各業界の規制に従う設備
- 9) その他、上記4)～8)に準ずる高度な信頼性、安全性が必要な機械・装置

使用条件・使用環境にも影響されますが、仕様書や取扱説明書に使用期間の記載がない場合は5年～10年を目安に製品のお取替えをお願いいたします。

保証範囲

本製品を使用した貴社製品に故障が生じ、その原因が本製品の瑕疵による場合、お客様への納入後1年以内に限り、納入した本製品の代替品の提供または修理品の提供を無償で行わせていただきます。ただし、お客様の製品の故障により生じた損害のうち、当社が負担する割合は、納入した本製品の価格を上限とさせていただきます。また、お客様の製品の故障が下記事由に基づく場合は、当社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものといたします。

- 1) お客様による本製品の不適当な取扱いならびにご使用の場合。
(カタログ、仕様書、取扱説明書などに記載されている条件、環境、注意事項などの不遵守)
- 2) 故障の原因が、本製品以外の事由の場合。
- 3) 当社もしくは当社が委託した者以外の改造または修理による場合。
- 4) 「使用上の制限」に反し本製品が使用された場合。
- 5) 当社出荷当時の科学・技術水準では予見不可能であった場合。
- 6) その他、天災、災害、第三者による行為などで当社側の責にあらざる場合。

なお、インターネットオークションなどで本製品を購入された場合、上記の保証は一切受けられませんのでご注意ください。

問合せ

株式会社 鷺宮製作所

本社 / 〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-8-2
新宿ガーデンタワー 22 階
URL <http://www.saginomiya.co.jp>

営業本部 / 東京 03-6205-9140 大阪支店 / 大阪 06-6385-8011

本製品に関するお問い合わせは、お買い求めいただきました販売店もしくは saginomiya-info@saginomiya.co.jp へお問い合わせください。